

京染卸商業組合

見本帳の地色替えアプリ「京染きもの彩あそび」の開発

京染における「詠染」の業務で使われる色・柄見本帳のWebでのシミュレータを開発することで、お客様に最終イメージを提示するとともに、業務のIT化を図った。

住 所	(〒604-8333) 京都市中京区西堀川通三条下ル 下八文字町 702		
電話番号	(075) 801-3355	U R L	http://www.kyozome.info/
設 立	昭和 39 年 3 月 26 日	F A X 番号	(075) 801-3359
組 織 形 態	同業種網羅型組合	出 資 金	56,520 千円
主 な 業 種	繊維衣服等卸売業	地 区	京都府
組合専従者	2 人	組 合 員	105 人

背景と目的

お客様のニーズに合わせて色柄を調製してきものをつくる「詠染」は、振袖、留袖、訪問着、小紋、染帯など多数ある見本帳や裂見本を使い、お客様に「柄」と地色となる「色」を選んでいただくという工程であり、販売人の専門知識と長年の経験が極めて重要となっている。

しかし、きもの産業の需要が長期低迷するなか、青年層においては経験を積み重ねる機会が減り続け、上手く説明できない販売人が増えてきた。また、見本帳が複数必要なことから業務に多くの負担がかかるとともに、お客様には実際のでき上がり状態を提示できず不便な点もあった。さらに、3年ごとの見本帳更改費用も多額でありコスト面での課題も抱えていた。

これに対し、10年前頃から組合内にIT委員会を設置し、IT技術での解決を検討を進めてきた。平成24年度には、本格的にIT活用による「詠染」のシミュレーションを実現するため、組合創立50周年事業として、京都府中央会の支援を受け、全国中央会の中小企業等活路開拓調査・実現化事業を活用してシステムの開発に取り組むこととした。

事業・活動の内容

本事業は、IT委員会を基盤として全国中央会補助事業委員会を設置して、6回に渡り委員会を開催し、事業の推進と総括を行った。当委員会において「システム要件定義など」「開発業務委託先の検討と決定」「システムの詳細設計の検討」「開発状況の確認とアプリ名称等の検討」「成果普及方法等の検討」「システムの最終確認と広報の検討」を議題として検討を行い、「着物地色替えシミュレータ [京染きもの・彩あそび]」を開発した。開発したシステムは、PC及びタブレット・スマートフォンに対応したWebシミュレータである。

本事業に取り組むにあたり、アプリ開発に関する課題とシミュレーションの対象範囲をどうするかという2つの課題が発生したが、開発委託先との連携を強化するとともに、将来の拡張を前提として主要11柄に絞り込んで開発するという対応した。

成果・効果

今回はシステム開発段階のため、主要11柄に絞り込んでシミュレーターに掲載しているが、将来的には当組合が保有する500柄すべてを掲載することを目指している。これにより見本帳を不要にし、かつ、お客様に最終のできあがりイメージを提示できる環境が実現する可能性を持つことになる。

また、一般消費者に対して、Webで公開し無料で利用できるスマートフォン等のアプリとしてダウンロードできることから、色替えを楽しんでもらうことが可能であり、当組合では、きものなじみのない人もアプリで遊んでもらうことで「詠染」の良さや楽しさを知ってほしいと期待を寄せている。



WEB版シミュレーション画面



柄見本帳